

## プレゼミナールの進め方

### 1. テキスト

必要に応じて、プリントを配付。教科書として、特に購入する必要はなし。

### 2. スケジュールと課題

05月10日 第1回 今後のスケジュールの説明，1ヶ月間の学生生活を振り返って

（登校する必要はありません）

#### 【各自での取り組み】

①この配付資料を熟読しよう

→説明用の音声ファイル（mp3形式，18分14秒程度，少し長め）をMicrosoft Teams上にアップロードするので，各自でダウンロードして聴取する。ダウンロードできない人は，資料を熟読するのみでもかまわない。

②別紙の課題に取り組もう

③課題を提出しよう

05月17日 第2回 大学で学ぶことの意味，大学の授業スタイル，大学と実社会

（登校する必要はありません）

#### 【各自での取り組み】

①配付資料を読んでみよう（この日は，音声ファイルはなし）

→ノートの取り方・講義を受けるにあたっての注意などに関する資料，建築業界に関する資料をMicrosoft Teams上にアップロードするので，各自で目を通す

②別紙の課題を印刷して書き込もう（取り組もう）

③課題を提出しよう

※学修テーマの選び方に関する資料（05/31までの宿題）もMicrosoft Teams上にアップロードするので，各自で読んでおく

05月24日 第3回 図書館ガイダンス（登校する必要はありません）

→図書館とLLCに関する動画が用意される予定なので，各自で視聴する

※動画の配信時期などは未定

※図書館ガイダンスに関する配付資料についても，配布時期は未定

※図書館やインターネットの利用に関する資料をMicrosoft Teams上にアップロードするので，これらの資料にも目を通す

05月31日 第4回 学修テーマの決定（対面授業、もしくはオンラインでの授業の予定）

⇒対面授業の場合は、辻原担当の研究室（環境共生学部西棟4階南西角）に10:30までに集合する。

⇒オンラインの授業の場合は、Microsoft Teams もしくは Zoom に入室する。

※この時までには、できるだけ通信環境を整える（Wi-Fi 環境（できれば無制限）、パソコン（スマートフォンでも構わないが、視聴がしにくい））。

→3週間でレポート作成に取り組もうとする学修テーマ候補から、実際に取り組む学修テーマを決定する。

※学修テーマに沿って、3週間を使って、各自でレポートを作成してみます。

→Microsoft Teams 上にアップロードされた学修テーマの選び方に関する資料を参考にして、最低3つは自分で取り組んでみたいと思うテーマ候補を考える。また、それぞれのテーマ候補について、どうして（なぜ）そのようなテーマ候補を選んだのか、も1人5分程度の持ち時間で発表（説明）する。A4版1～2枚程度の配付資料を、各自で7部（学生6人+辻原1部）ずつ、準備して配布する。オンラインでの授業になった際には、Microsoft Teams 上にアップロードする（アップロードの方法は後日説明します）。

※レポートの書き方に関する資料（次回までの宿題）を配付

06月07日 第5回 レポート作成中間報告（対面授業、もしくはオンラインでの授業の予定）

⇒授業のはじめの30分程度を使って、「フィールドワーク」の授業に関するガイダンスが行われる予定（大ホールに集合）

→05月31日に決めた学修テーマでは、具体的にどんなことをどんな方法で調べて内容を深めていくのか、を1人10分程度の持ち時間で発表（説明）する。少しでもよいので、実際に調べ始め、その内容もあわせて発表する方が望ましい。

→どんな章立てにしてレポートを作成するのか、どこで（何で）調べるのか、を考える。その際、できるだけインターネットのホームページは使用しない。A4版1～2枚程度の配付資料を、各自で7部（学生6人+辻原1部）ずつ、準備して配布する。オンラインでの授業になった際には、Microsoft Teams 上にアップロードする（アップロードの方法は後日説明します）。

※プレゼンテーションの方法に関する資料（次回、次々回までの宿題）を配付

06月14日 第6回 レポート「案」の提出（対面授業、もしくはオンラインでの授業の予定）

→06月07日に配付されたレポートの書き方に関する資料を参考にして、レポートの第一案を作成する。さらに、レポートの第一案をもとに、1人10分程度の持ち時間で内容を説明する。発表の際には、レポート第一案の本体を皆に配布する。オンラインでの授業に

なった際には、Microsoft Teams 上にアップロードする（アップロードの方法は後日説明します）。

→レポートはできるだけワープロで作成する方が望ましい。

※レポートの第一案の枚数や形式は、特に指定はしない。各自で自由に決める。

### 06月21日 第7回 レポート提出、発表（対面授業、もしくはオンラインでの授業の予定）

→06月14日に出された意見や助言を参考にして、最終レポートを作成する。さらに、06月07日に配布されたプレゼンテーションに関する資料を参考にして、レポートの内容を1人10分程度の持ち時間で発表する。発表の際には、レポート本体とは別に発表用配付資料（A4版1～2枚程度）を、各自で7部（学生6人+辻原1部）ずつ、作成して配布する。オンラインでの授業になった際には、Microsoft Teams 上にアップロードする（アップロードの方法は後日説明します）。

→レポートはできるだけワープロで作成する方が望ましい。枚数や形式などは、特に指定はしない。各自で自由に決める。

→発表は、パワーポイントを使ってもよい。

→最終レポートの本体は、辻原のみに提出すればよい。

### 3. 参考図書（順に、書名、編著者名、発行所、発行年月、本体価格、ISBN番号、熊本県立大学学術情報メディアセンター図書館所蔵情報（[]内））

[1]『**大学生入門 3訂版**』（高橋三郎・新田光子，世界思想社，2009年3月，1,300円＋税，ISBN：978-4-7907-1394-4）〔書庫（4F），377.9||Ta 33, 0000323285〕

→初版（2001年6月，ISBN：978-4-7907-0881-0）〔書庫（4F），377.9||Ta 33, 0000249269〕，

改訂版（2006年2月，ISBN：978-4-7907-1167-4）〔書庫（4F），377.9||Ta 33, 0000300324〕

もあり。

※以下の参考図書でもよいかもしれない。

・『**大学生 学びのハンドブック 5訂版**』（世界思想社編集部編，世界思想社，2021年2月，1,200円＋税，ISBN：978-4-7907-1749-2）〔所蔵なし〕

→4訂版あり（2018年1月，ISBN：978-4-7907-1707-2）〔就活・レポート（1F），377.15||Se 22, 0000378893〕

・『**大学新入生ハンドブック**』（世界思想社編集部編，世界思想社，2014年11月，520円＋税，ISBN：978-4-7907-1641-9）〔和書（2F），377.9||Se 22, 0000364024〕

[2]『**スタディスキルズ・トレーニング 改訂版 大学で学ぶための25のスキル**』（吉原恵子・間瀬泰尚・富江英俊・小針誠，実教出版，2017年10月，1,200円＋税，ISBN：978-4-407-34061-7）

[就活・レポート (1 F), 377.15||Y 87, 0000379748]

→初版 (2011年6月, ISBN:978-4-407-32243-9) [和書 (2 F), 377.15||Y 87, 0000342518]

[3]『アカデミック・スキルズ 大学生のための知的技法入門 第3版』(佐藤望編著, 湯川武・横山千晶・近藤明彦, 慶應義塾大学出版会, 2020年2月, 1,000円+税, ISBN:978-4-7664-2656-4) [就活・レポート (1 F), 377.15||Sa 85, 0000386409]

→初版 (2006年10月, ISBN:4-7664-1324-5) [和書 (2 F), 377.15||Sa 85, 0000304262] もあり。

→第2版 (2012年9月, ISBN:978-4-7664-1960-3) [和書 (2 F), 377.15||Sa 85, 0000352556] もあり。

[4]『広げる知の世界 大学でのまなびのレッスン』(北尾謙治ほか, ひつじ書房, 2005年5月, 1,600円+税, ISBN:4-89476-242-0) [和書 (2 F), 377.15||Ki 71, 0000293704]

#### 4. 担当者

教授・辻原万規彦

部屋：環境共生学部西棟 (旧棟) 4階南西角

電話：096-383-2929 (内線492), 096-321-6706 (直通)

e-mail：m-tsuji@pu-kumamoto.ac.jp

※何かわからないことがあれば, e-mail, Microsoft Teams の投稿機能やチャット機能で質問してください。

研究室助手・岡本孝美

部屋：環境共生学部西棟 (旧棟) 3階南西角・田中研究室 / 4階中央・岡本助手室

電話：096-383-2929 (内線482 (助手室) / 内線475 (田中研究室))

e-mail：okamototkm@pu-kumamoto.ac.jp

## 第1回 1ヶ月間の学生生活を振り返って

### 【提出を要する課題】

これまでの大学生活で、

- ①印象に残ったこと、楽しかったこと、もしくは今後に期待したいことなど（どちらかと言えばプラスの評価）
- ②困ったこと、どうしたらよいかわからないこと、相談したいことなど（どちらかと言えばマイナスの評価）
- ③Wi-Fiの環境（制限はない？ある？大学で接続する？）などのように自分の環境を書いてください。また、パソコン（ノートパソコン、デスクトップパソコン）やスマートフォンなど授業を視聴する際に使用する（予定の）機器についても書いてください。

を、05月10日（月）中に、辻原宛にe-mail（辻原のアドレス：m-tsuji@pu-kumamoto.ac.jp）で送付する。400字以上を目標にする。e-mailの使い方の練習でもある。スマートフォンなどを使って、そのままe-mailに文章を打ち込んでもよいが、Microsoft Wordのファイルなどを添付してもよい。

①と②をあわせて、400字以上を目標にする。ただし、小論文の試験のように、厳密に数えなくてもよい。また、文章にできなくても、箇条書きでもよい。

皆さんが送付した内容に、辻原がコメントをつけて、まとめたファイルを、後日、Microsoft Teams上にアップロードする。他の人の考え方を共有し、参考にして自分の大学での学修をどのように進めるかを考える。なお、この時に考えた内容については、特に、提出する必要はない。